

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	恵那市	学校名	恵那市立武並小学校			
校長名	林 仁	対象学年	6年	人数	42人	
活動名	道笛制作		時間数	10時間	継続年数	18年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [ ] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [ ] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [ 藤地区の道笛 ] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [ ] 5 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [ ] 6 その他（ ） [ ]					
複数年継続するための工夫改善	○総合的な学習の年間指導計画に位置付け、また地元保存会に指導をしていただくことで、長く活動を継続することが可能となっている。 ○地域、保護者の前で演奏披露する機会を設けることで、学校の特色ある活動として根付かせている。					
<p>1 ねらい</p> <p>◎藤武並神社の秋季大祭で奉納される道笛を制作し、演奏披露する活動を通して、故郷の伝統文化のよさやそれを継承する人々の願いにふれ、生まれ育った故郷・武並を大切にしようとする心情を育む。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>(1)「道笛作りの見通しをもち、準備をしよう」（10月：1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生竹を煮て油分を抜く</li> </ul> <p>(2)「世界に1つのマイ道笛を作ろう」（11～12月：5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の内側の薄皮をとり、表面を磨く</li> <li>・キリで穴をあける</li> <li>・吹き口上部にティッシュをつめ、その間を石膏で固める</li> <li>・表面を仕上げ磨きし、ニスを塗る</li> </ul> <p>(3)「道笛の音色を全校に響かせよう」（1～2月：4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に吹いてみて、音階を吹けるようにする</li> <li>・大太鼓、小太鼓と合わせ、曲を仕上げる</li> </ul> <p>※3月の「6年生を送る会」にて、全校児童や参観の保護者の前で発表</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作から演奏披露まで、地元の保存会の方に来校していただき、指導に当たっていただいている。その過程で、「子ども達にも武並の道笛を大切に伝えたい」という願いに直接ふれ、児童の心情が養われるとともに、学校職員にもその思いが伝わっている。</li> <li>・毎年2月末に武並コミュニティセンターで行われる「武並町文化発表会」に参加して演奏を披露し、地域住民の方にも喜ばれている。これにより学校の取組を広め、地域とのつながりを深めるためにも大きく貢献している。</li> </ul> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年に渡る活動により、児童に「6年生になったら道笛を作る！」という憧れの気持ちが生まれ、卒業時には自分だけの「マイ道笛」をもって本校を巣立つことが伝統となっている。</li> <li>・卒業後、中学生になっても、藤武並神社の秋季大祭での奉納演奏に参加する生徒もおり、児童の心に着実に『故郷の道笛』への誇りと愛着が育まれている。</li> </ul>						